

高退協ニュース

No.240
2023年
1月1日
発行
高知高退協
高知高退協
事務局

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会

高知市丸の内2丁目1-10

高知城ホール高教組気付
連絡先 088(822)6822

郵便振替口座 0165052511893

新年あいさつ

「かならず 春が来ると 思つて、歩き続ける」



高退協会長 川村喜美

表題の言葉は元京都府革新知事の蛭川虎三さんの「峠の向うに春がある」の中の言葉です。蛭川さんは「十五の春は泣かせない」「憲法をくらしの中に」のスローガンを作つた第一人者でもあります。この言葉は沖縄県元知事の翁長雄志さんの「諦めない限り、負けない」にもつながります。

長期に渡るコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、物価高、経済不況のなか、生活に希望を見出すことが困難な日々が続いています。しかし、その中でも昨年、諦めない限り負けないことがこの高知県でもありました。懸命に生きようとする人々は私達に「諦めず」「ガンバレ」とメッセージを送っています。その人々はすぐ近くにいます。例えば、高知市の西敷地を市民のための広場にと活動を続けてきた皆さん。そして四万十市では下田中学生を無理やり追い出して、私学の大学を誘致しようとした計画を断念させた皆さんが高知県四万十市

望を見出すことが困難な日々が続いています。しかし、その中でも昨年、諦めない限り負けないことがこの高知県でもありました。懸命に生きようとする人々は私達に「諦めず」「ガンバレ」とメッセージを送っています。その人々はすぐ近くにいます。例えば、高知市の西敷地を市民のための広場にと活動を続けてきた皆さん。そして四万十市では下田中学生を無理やり追い出して、私学の大学を誘致しようとした計画を断念させた皆さんが高知県四万十市

国松勝さん 画集を出版

飯田清久



画家であり高退協顧問でもある国松勝さんがこのほど松勝さんがこのほど

画家であり高退協顧問でもある国松勝さんがこのほど松勝さんがこのほど

で開催され、幡多の皆さんの力強い協力もあつて予定を上回る参加がありました。徳島からは93歳と83歳の会員が長時間汽車に乗って参加して下さり、93歳の方は歩行バランスが多少取りにくい状態でしたが、横8mもあるかと

「戦災を免れ、わずかに残った古民家や終戦直後に建てられた民家の佇まいと、そこに暮らす人々の暮らしの気配に安らぎを覚え」(画集より抜粋)、ご自身の大切なテーマとして毎年のように「水会」に出品されてきました。